

青森県林業技術者民・国連携ワークショップ現地見学会を開催しました
(令和3年10月25日)

10月25日(月曜日)に、外ヶ浜町蟹田字西小国山国有林と蓬田村広瀬山国有林において、青森県、森林整備センター青森水源林事務所、日本森林林業振興会青森支部、森林管理署の職員など28名が参加して「青森県林業技術者民・国連携ワークショップ現地見学会」を開催しました。

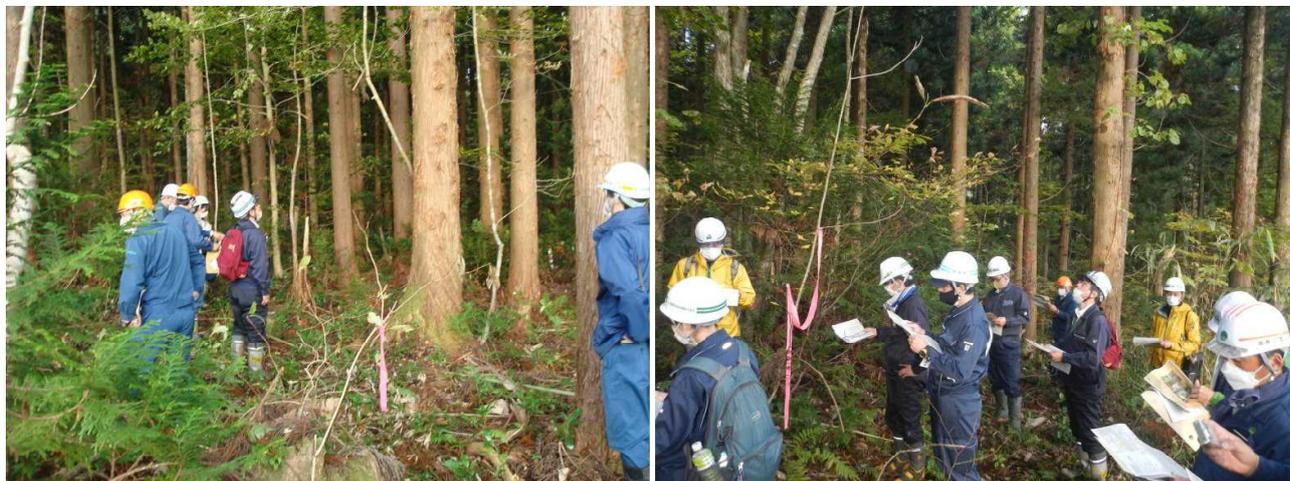
初めに、森林管理署の担当者から「青森ヒバ林復元プロジェクト」の概要について説明がありました。

外ヶ浜町蟹田字西小国山国有林では、スギ人工林の中でヒバの稚幼樹が旺盛に根付いている状況を確認しました。署担当者から、スギ上木は伐採(複層伐)し、下層に生育するヒバの稚幼樹の成長を促す施業について説明があり、参加者全員でヒバ稚幼樹が少ないところにスギを植栽している箇所を確認しました。



施業箇所見学の様子

その後、蓬田村広瀬山国有林に移動し、「ヒバ林復元プロジェクト」におけるフォローアップ調査箇所を見学しました。フォローアップ調査とは、ヒバを主体とした森林に復元するための施業箇所において、ヒバの前生樹の成長推移、稚樹の発生と定着等の更新状況を把握し施業効果の検証などを行うものです。署担当者から、調査は施業前・施業後に実施する、という説明がありました。



フォローアップ調査箇所見学の様子

今後も「青森県林業技術者民・国連携ワークショップ」を継続して開催していき、地域の森林の管理経営、林業に関する技術・知識の普及や市町村への支援に取り組みます。

※ワークショップとは：参加者の主体性を重視した体験型の講座、グループ学習、研究集会